

リ・ニュータウン通信



旧藤山台東小学校施設の改修設計 ワークショップ第2回を報告します



さる10月31日(土)に「旧藤山台東小学校施設の改修設計に係るワークショップ」の第2回を開催しました。小学校の統合によって空き校舎となる旧藤山台東小学校施設を地域で活用するため、公募市民23名の皆さんと有効活用を創造的に話し合うワークショップ第2回の報告です。

この「かわら版」を読んでいただいた地域の皆様からも積極的なご意見をお待ちしています！

会場は第1回と同じ、旧藤山台東小学校校舎3階の家庭科教室です。

今回は、テーマを「**利用者の身になってプランをみよう～それぞれの空間利用を考える**」として、第1回で出された様々な意見、周辺条件などを踏まえ、改修設計の配置計画を提案し、より使いやすい施設にするためみんなで意見を出し合いました！

■ 周辺条件などについて説明

まずは、市ニュータウン創生課から周辺条件などの考え方や検討状況について以下の説明をしました。

- 施設周辺の整備：周辺の道路については、歩道の新設や拡幅、歩行者中心のコミュニティ道路化や段差解消などの改善を検討する。
- 東部市民センターとの連携と役割分担：調理室や音楽スタジオなど専用活動室は、東部市民センターの既存施設や図書室跡の活用検討を含め、連携を図る。
- 駐車場：敷地内に約50台を確保。不足分は周辺土地等を利用することを検討する。
- 施設運営：多様な市民参加ができる仕組みづくりと導入機能が相互連携し、施設全体の一体的な運営を目指す。例えば、公民が連携して設立する組織による施設の管理・運営を目指す。



※ 藤山台中学校区旧小学校施設の活用のための基本方針

【提案された配置計画案】

3階：市民活動室、学習室(図書室)
管理事務ゾーン

2階：図書室（一般書架など貸し出し図書
を2階に集中）

1階：コミュニティカフェ、児童館と児童書コーナー
地域包括支援センター

※ 配置は決定したものではありません。

■ そして、改修設計の計画案を説明

続けて設計者チーム(日本設計)からは、第1回の意見を踏まえて、配置計画案（ゾーニング案）の提案説明をしました。

<主な説明内容>

- ・施設の核となる図書室の充実したエリアの確保
- ・東西2箇所の出入口、西側をメインにしてエレベーターを設置
- ・コミュニティカフェを中心として各機能の相互連携を誘発
- ・1階の中庭広場に面する部分は施設の内と外を一体的に利用
- ・敷地の高低差を踏まえ、バリアフリーに配慮した動線を確保
- ・敷地内は、まちと繋がる散歩道になるような連続性を
- ・記念樹や既存植栽を生かしつつ、暗がり部分は剪定
- ・プール跡地を駐車場として活用



提案されたプランを全員で練って、練って、より良いプランに！

4つのグループごとに意見交換したのち、全員で談論風発の本音トークが交わされました。その熱心な意見や提案のほんの一部になってしまいますが、以下にご紹介します。

■ 駐車場について

- ・駐車場台数が50台では少ない。本当にどれだけ必要なのか？
- ・調理場跡地に駐車場を設けられないか。
- ・グラウンドの使い方をよく考えて、その一部を駐車場にしてはどうか。
- ・敷地の真ん中が駐車場なのはどうなのか？

■ コミュニティカフェ、オープンに集う場

- ・カフェは外の空間をもっと活用したい。
- ・外からみて人の賑わいが感じられるように
- ・多世代が集まる空間にしていきたい。
- ・エレベーターは北側の方が中庭が活きる。

■ 他にいろいろな意見も

- ・おじさま達の居場所空間も必要
- ・東部市民センターとの連絡ルートを
- ・午後8時まで開館してほしい。
- ・3階にも行きやすい雰囲気をも
- ・コミュニティバスの発着場も必要



■ 個性的な図書館にしたい！

- ・図書館の個性を出してほしい。
- ・東部市民センターの規模以上
- ・図書館は、毎日運営してほしい。
- ・午前9時～午後8時まで開館してほしい。

■ 児童館の使い方

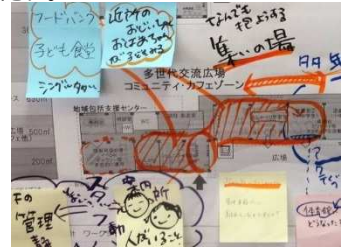
- ・子ども広場の賑やか空間と、高齢者がのんびりする空間、静と動の使い分け
- ・東部子育てセンターとの役割分担明確に
- ・午前中子どもが少ない時間帯の有効活用
- ・ビリヤードや卓球など児童館のアクティブな活動は体育館に移してはどうか。
- ・水遊び場、工作のできるスペースを！

■ 顔となる玄関ロビー空間を入りやすく

- ・玄関ロビーが施設の顔になるように
- ・入りやすい雰囲気になりたい。
- ・入口でのインフォメーションが大事
- ・玄関口に案内コンシェルジュ機能を(事務室が3階で大丈夫か)

■ バリアフリーをもっとしっかり

- ・スロープやエレベーターなどあるが、もっと使いやすくなる工夫ができる。
- ・西側のメイン入口こそ、障がい者用駐車場や、車椅子スロープが便利な動線にしたい。



今回の意見交換で論点となった全体テーマは、敷地内の駐車場の規模と配置です。
 >> 調理場跡地を駐車場に活用できないか？
 >> グラウンドの一部を駐車場にしたほうがいいのか？
 など様々な可能性を話し合いました。次回、再度検討していきます。

【次回に向けて】

次回11月22日(日)の第3回ワークショップでは…今回の意見を踏まえてプランを再度検討し、設計方針を固めたいと思います。また、コミュニティカフェ・図書室・児童館・広場など具体的な利活用のアイデアも話し合う予定です。

せっかくの複合機能がタテ割りにならないよう、それぞれの機能が連携した複合施設の良いところを積極的に活かしましょう！

市政アドバイザー
 中部大学 服部先生



● ワークショップに参加できなかった地域の皆様、ご意見を大募集！！

このかわら版を読んで感じたこと、期待することやアイデアなど、あなたの声をぜひお寄せください。

必ず、お名前とご連絡先（ご住所、お電話番号）を記入いただき、下記へお送りください。

郵送、ファックス、E-mailのほか、直接持参でも結構です。

宛先：春日井市企画政策部ニュータウン創生課（〒486-8686春日井市鳥居松町5-44）

FAX 0568-83-9988 E-mail nt-sosei@city.kasugai.lg.jp

ぜひ、皆さんの声もお寄せ下さい！

